

第20回日本雑草学会シンポジウム

— 外来雑草の総合的管理方法 — 法規制から現場対策まで

今や日本では、外来雑草—帰化植物や外来植物の中で「雑草」となったもの—が農業生産や人間生活に非常に大きな影響を与えています。「特定外来生物規制法」の施行を目前にして、外来雑草の現状とその問題点、法規制と制御技術による対応方策などについて雑草科学の観点から議論を深め、進むべき方向を探る目的でシンポジウムを開催します。外来雑草に様々な角度から関心をお持ちの多数の方々の参加を呼びかけます。



▲規制対象候補のミズヒマワリ

- I 日 時：2005年8月11日(木)13:00～12日(金)12:00
 II 場 所：独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所(那須) GGホール
 (栃木県那須塩原市千本松768:東北新幹線那須塩原駅下車, 東北本線乗り換え西那須野駅下車, 塩原温泉行きバス, 千本松バス停下車:<http://nilgs.naro.affrc.go.jp/INFO/guidance.html>参照)

III 日 程：

1. 現地検討会 (8月11日(木) 13:00～17:00 草地研究センター集合)
 那須野が原地域の外来雑草発生圃場および対策技術導入事例の見学

2. シンポジウム (8月12日(金) 9:00～12:00)

(畜産草地研究所草地研究センター GGホール)

基調講演 外来雑草の問題点と展望 清水矩宏氏(畜産草地研究所 前副所長)

話題提供 1) 輸入牧草に混入する外来雑草種子の非意図的導入

浅井元朗氏(中央農業総合研究センター 畑雑草研究室)

- 2) 特定外来生物被害防止法が果たす役割

則久雅司氏(環境省 自然環境局国立公園課, (併)野生生物課)

- 3) 法規制のための雑草リスク評価モデル

西田智子氏(畜産草地研究所 草地管理研究室)

- 4) 固有生態系保全のための雑草リスク評価導入事例—小笠原諸島での取り組み—

加藤英寿氏(東京都立大学 自然史科学講座)

総合討論

3. 懇親会 (1日目の夜, ホウライカフェテリアにて 会費 3500円)

IV 参加費：現地検討会参加費：2000円(バス代)

シンポジウム参加費：日本雑草学会会員 1000円, 一般 1500円 学生 500円

講演要旨 2000円 当日受付で頂きます。

V 連絡先および参加申し込み：

氏名, 所属, 連絡先(郵送先およびE-mailアドレス), 現地検討会, シンポジウムおよび懇親会出席の有無を明記して7月22日(金)までに, 下記あてファックスまたはE-mailにてお申し込みください。また, 雑草学会ホームページ(<http://wssj.jp>)からもお申し込み頂けます。なお, 宿泊の斡旋はいたしませんので, 各自でご手配ください。申込みは4月20日から受け付けます。

連絡先：〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松768

(Tel:0287-37-7802, Fax:0287-36-6629)

畜産草地研究所栽培生理研究室 黒川俊二

(Email:shunji@affrc.go.jp)

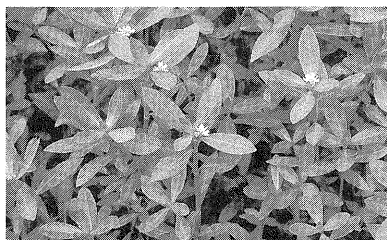
シンポジウム事務局：黒川俊二・西田智子(畜草研)・浅井元朗(中央農研)(日本雑草学会「雑草リスク評価」研究部会世話人)・寺田文典(畜草研企画調整部)

主 催：日本雑草学会

(〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 植調会館内)

共 催：(株)畜産草地研究所

(〒305-0901 茨城県つくば市池の台2)



▲規制対象候補のナガエツルノゲイトウ